

ミュージア川崎市民合唱祭 2018 特別企画 ～ゲストハインタビュー、洗足学園編～

6月23日(土)、洗足学園音楽大学から四人の皆様にご出演いただきました！野邊地彩さん(ソプラノ)、草間勇貴さん(テノール)、倉内健人さん(バリトン)、井向結さん(ピアノ)です。今回は演奏前にインタビューをさせていただきました。



(左から倉内さん、井向さん、野邊地さん、草間さん)

ー今回ご出演いただく四名のうち、三名の皆さんは昨年もお出演を頂いていますよね？

草間) はい、ソプラノ以外は昨年と同じメンバーで出演をさせて頂くこととなりました。昨年のゲスト出演は本当に良い経験となりました。それを受けて、今年は皆様により「声楽の楽しさ」をお伝えできるよう、自分たちが歌いたいと思うものをガッツリと歌わせて頂きます！

ーおお、それは楽しみです！

倉内) 選曲もこだわって、言語もジャンルも異なる四曲を歌わせて頂きます！それぞれの曲を通じて、曲の持つ面白さや各人の持ち味をお伝えできるよう精一杯演奏をさせていただきます！

ーそれは楽しみです・・・ところで、ピアノの井向さんは昨年末の市民第九でもお世話になりました。

井向) はい、その節はお世話になりました…実はその市民第九のとき、皆さんと色々お話をさせて頂く中で改めて感じたことも多かったのです。中には「やっぱりオペラは緊張する」というようなお話もあって…もっと気楽さや親しみをもって頂けるような活動をしていかなとな、と思いました。その意味でも、また今日のような機会を頂けたことは、本当に嬉しいです！

ーそれは何よりです。そして今回初出演の野邊地さん、

今はどんなことを感じられていますか？

野邊地) はい、実は私も合唱団に入っていたことがあって、合唱祭のような企画は知っていますが、そこで自分の名前を前面に出して演奏する日が来るとは・・・。こういうイベントでゲスト演奏枠があるというのも初めてだったので、声楽に親しみを持って頂ける入り口のようなきっかけになるかも？と思い楽しみにしてきました！

ー皆さん、今日の演奏を目一杯楽しんで頂ければ幸いです！ところで、皆さんそれぞれ音楽についてどんなことを大切になさっていますか？プログラムでも演奏そのものでもなんでも結構ですので、一言ずつお願いします！
草間) やはり選曲は大切ですね。まず自分が好きなのは前提として、その曲を聴いている人にも好きになってもらえるように、演奏順やMC、会場の雰囲気作りなど色々な点に配慮します。演奏に関していえば、本当に楽しんで頂けるためには「舞台上で死んでも！！」くらいの覚悟は必要だと思って歌っています！

倉内) 最近、銀座のピアホールで歌うお仕事をしていますのですが・・・やっぱり音楽ってスゴいな、と改めて感じています。おそらくオペラをよく知らないお客様でも、乾杯の歌を聴いたら大喜びで乾杯をしながら大盛り上がりをしてくれたり・・・。

だからこそ、オペラをはじめとした声楽曲の普及をもっと進めたいですね。より知って頂ければ、より多くの皆様に、より大きな楽しさを味わって頂くことができるのかな？と。そのためには、まず単純に声楽との接触回数が少ないのかな？と感じています。ですので、今日のような機会は本当にありがたいです。

もちろん、私自身についても、お客様の印象に残るような演奏を実現できるよう、高みを目指していきたいです！

井向) いま、ソロとしての演奏はそれほどやっていなくて、伴奏を中心に活動をしています。例えば今日のようなオペラ曲のピアノ伴奏は、本番ではオーケストラが演奏することも多いので「オケの演奏が想像できるようなピアノ演奏」はどうしたらできるのか？といった点を常に考えています。



(演奏の様子)

あとはその曲がもつ雰囲気を活かすことですね。目の前に広がる情景を感じつつ・・・しかし、やはり伴奏ですから、舞台上で誰よりも冷静でなければいけません。伴奏をしていると本当に色々な場面に立ち会うことが多いのですが、私はピアノを通じて歌手の皆さんを支えるのがお仕事ですね！

草間) いつも助けてもらってます・・・(笑)

野邊地) 何よりも大切にしているのは「演奏した曲を聴いた人が好きになってくれるような演奏を目指すこと」です。クラシック音楽というのは「自分専用の曲」というのはほとんどないので、多くの諸先輩方々が受け継いできた様々な曲を歌わせてもらうことになります。

そうやって連綿と伝わってきた流れについて、その一端を担わせて頂くことになりますので・・・私の演奏を通じて「曲の良さ」をお伝えできれば、本当に嬉しいです。そのためには技量を上げることも必須ですので、常に上を目指していきたいです！

ー皆さん、それぞれに強い思い入れをもって音楽に向かわれているんですね。最後に、何か今後やってみたいことなどあれば！

草間) やはり、演奏機会については常に創り続けていきたいです。最近改めて思うのですが・・・声楽を勉強してきて、本当に沢山の曲を聴いてきましたが、改めて多くの歌を覚えているなあ・・・と。単なる暗記ではなく、何か私の中に伝わるものがあったからこそ、覚えているのだと思います。私たちの演奏も、そうやって多くの方々に覚えてもらえるような境地を目指して努力を続けていきます！

野邊地) あと、やはり合唱ってすごく尊い空間だな、と。共有や共感、協力を通じて、人の声で世界が創られていくのが素晴らしいことだと。その意味で、合唱をやられている皆さんとのつながりもぜひ強固にしていきたいです！

ーまた何かの機会でご一緒できそうなお話です・・・本日はありがとうございます！

皆さん) ありがとうございます！